

Aイマスクはいかがですか？

Aイマスク対人間の力

5年 M・Tさん

こんな魅惑的な製品を試さずにいられる人はいるのだろうか。僕はいつも人前での演奏に緊張しすぎてしまう。ピエロが「最強の演奏できる風スピーカーマスク」をくれるなんて言ったら飛びついていたかも。でも、自分の力でない成功に心から喜べるものだろうか。

夏休み前、小学校生活では最後となるバイオリンの発表会があった。絶対に自分の力を出しきりたい。僕にとっては背水の陣だ。考えないようにしても、過去の数々の失敗が頭をよぎる。舞台に出ると足はガタガタ小さく震えるし、手の指先がビリビリしていた。心拍数が跳ね上がる。緊張を振り切ろうと、弾けるように弾き始めた。これまで、演奏中に最後まで強い気持ちを持ちきれない時もあったけれど、ひたすらひとつひとつの音に注意を払い集中した。最後までミスなく全力で弾ききれるぞと思った最後の数小節から目頭が熱くなっていた。過去一番の出来だ。みんなの拍手を聞きながら自分の席に戻って座ると同時にこらえきれなくなった涙がポロポロこぼれてきた。やり遂げられた感動と終わってしまったさみしさがあふれてきた。Aイマスクをしていたら百発百中で大成功。もっとモーターアルトみたいに弾けて、四方八方から盛大な拍手に包まれていたのだろう。でも、ちょっとむなしくなってしまうかもしれない。

主人公たちは、自分では気付いていなかった自分の良さを発見し、勇気を出して変わることができた。最先端のマスクは、きっかけをくれたのだ。この物語を読んで、A Iに頼ることではなくなった自分ではなくて、自分のままの個性を大事にした方が、持っている力を最大に発揮できるのだと思った。

あの風船のように消えたピエロは、いつか完璧に近いマスクを完成させて帰ってくるだろうか。その時、マスクに頼らずに自分らしさと力を信じたいのと言える人でいたい。